

最所産業株式会社

佐賀の湯処 こもれび / 佐賀県佐賀市

日本が力強い歩みを踏み出した1952年。ガソリンスタンドの
開店から始まりました。

当社の経営理念は至ってシンプル。「お客様のありがとうのため
に」。

地域を盛り上げていきたい、あなたの喜ぶ顔が見たい、そんな
仲間が集まり、様々な事業にチャレンジしてきた結果、今では幅
広く6つの事業を展開するに至りました。

佐賀の湯処「こもれび」も、そんな想いから誕生いたしました。

地下1126mから湧き出すナトリウム炭酸水素塩泉をふんだ
んに使用した毎分625Lの源泉かけ流し温泉。

男性サウナとしては国内最大級のスタジアムサウナ、女性には
バレルサウナなど。

皆様の癒し・楽しみ・寛ぎを追求し、皆様の「ありがとう」を目
指しています。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×3台

補助金額：6,387千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：[発電] 休憩室、事務室への給電
[空調] ロビー、更衣室、休憩室、事務室、廊下共用部

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	613㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

最所産業株式会社 温浴事業部 山口 竜市 様

新築工事に伴い、ガス会社から補助金を活用した提案を受け、補助金の活用に至りました。

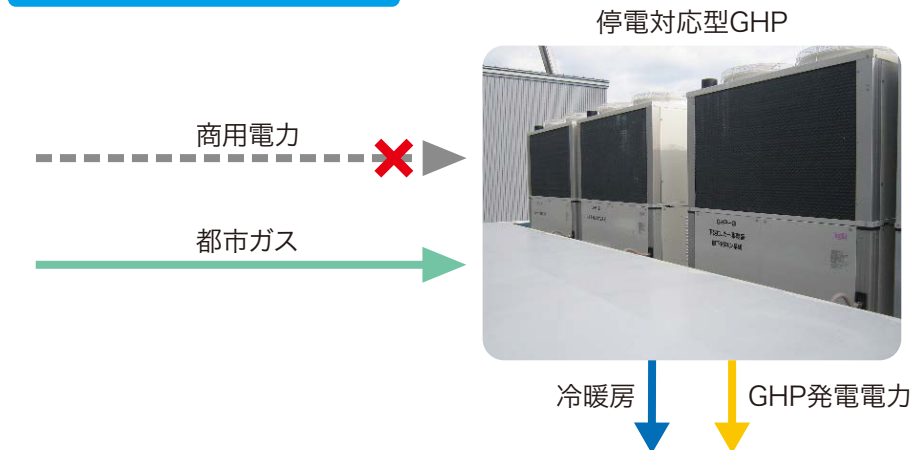
近年、自然災害が増え、当施設でも災害時に地域の役に立てればと考え、ガス会社に相談し行政に協定の提案を行いました。当施設は、避難所としての活用ができ、地域とのコミュニケーションの場が提供できればと提案を行いました。

災害時でも、照明及び空調が使えて避難所としての施設ができればと思い、停電対応型の空調機を導入しました。

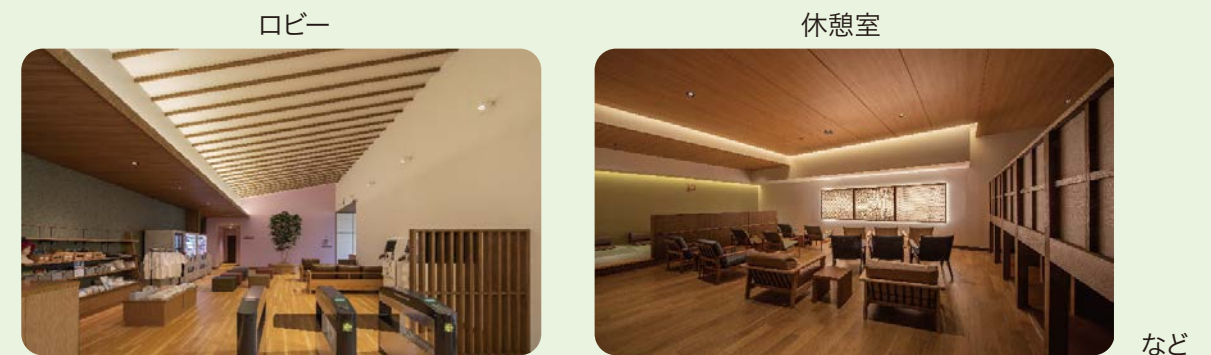
他の施設でも都市ガスを使用していますが、災害時の都市ガス設備は信頼できるものと考えています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

佐賀市とは「災害発生時等における施設の提供等に関する協定」を締結。2022年4月にオープンした当該温浴施設において市内での災害発生に伴い、ライフライン等に障害が発生した場合や5日以上避難生活者が発生した場合等において、市民にサービスを提供することを定めています。災害時には、施設内の空調等は継続使用できる計画となっています。